

葛根田川遡行報告書

日程：2016年8月13(土)～15日(月) 12日発

行程：葛根田地熱発電所～葛根田川～北ノ又沢～大白森～明通沢～栗木ヶ原～地熱発電所

メンバー：渡邊(3)、大塚、小原、田辺、前田(記)

8月13日(土)

地熱発電所 8:50～葛根田川入渓 9:15～お函 11:10～大石沢出合(釣り) 12:00～北ノ又沢～滝ノ又沢出合ビバーク 14:50?

*県道194号線(玄武洞～地熱発電所)が土砂崩れの恐れがあるため、夜間通行止め(17:30～8:30)となっている。



大迫力！パイプ沿いに歩く



葛根田川の入渓地点へ



1mくらいの堰堤をこえて



じゃぶじゃぶ。水量は少ないよう



広く明るく美しく



水がほんとうに綺麗



奥に穴あり



ナメが…！ナメが…！！



お函



お函は左岸をへつる



最後の所はがんばってへつる



たくさんの魚影がゆらゆら…！！



入れた瞬間 29cmの岩魚！！



B Pまで、まだまだナメはつづく



2m10mの滝はまいて



計8匹^^！

滝ノ又沢出合のB Pは聞いていた通り、山小屋のテン場のように整地されていました。

タープを張ってからしばし釣りをやらせてもらう。なんとなくお函手前から大石沢出合までに一番多くイワナのかげを見た気が…。イワナは夜塩焼きと激辛なめろうにいただきました(滝ノ又B Pには竹がなかったので、塩焼きを食べたい方は途中でみつけた方がいいかも)。広い葛根田川と^^！うれしくて気が狂いそうなナメと^^！念願のイワナ^^！の一日でした。

8月14日(日)

滝ノ又沢出合を右に7:00~860m二俣を右に(八瀬森山荘へは左俣)~1040m地点左俣をつめ~藪漕ぎ~大白森湿原の上部(登山道近く)の湿原16:20~藪漕ぎ~明通沢左の枝沢下降~明通沢左、枝沢の分岐1060m地点BP



朝ご飯。朝方かなり冷え込みました



出発！水が冷たい。今日は核心だ！



二日酔いでも沢は清らか



あじさい



出発して20分ほどで…



左をまく



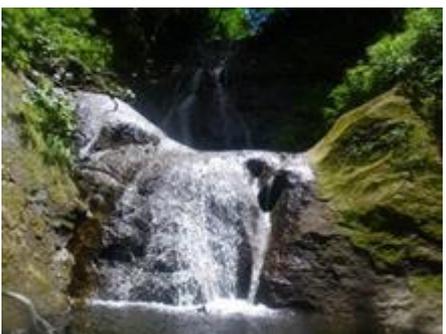
次の滝もまき懸垂中



今日もナメがたくさん



たまらん



ザックを引き上げたり…



上から



右を巻き懸垂下降

穏やかな一日目と変わり滝がでてくる。ひとつひとつの滝が小難しく、登ったり巻いたりしながらぬけていく。1040mを越えた辺りから左の枝沢をつめて行き藪漕ぎに突入、大白森湿原(上部)を目指し登山道に出ないように東から南にかけて細かくコンパスを合わせながら進むがなかなか湿原に出ない。登山道と湿原の間を行っているのではないかと辛抱しつつバチバチッバチバチッと根曲がり竹のムチ地獄をくぐりぬけ…!!!、
でた——！！！！



大白森上部の湿原。この開放感！！！！



こんな草原に行ってみたかった、そんな草原へ——

ねっころがって草のにおいを胸いっぱい吸い込んで、まだまだ！東へ。地図をあわせながら湿原を横ぎり、先に見える枝沢を確認し(1240m 地点にて)、明通沢(左俣)への枝沢入り下降していく。ただただ下降して行くだけが疲労で足取りを重い。少しずつ今日の終わりが近づいているのを感じる。

ずっとBPを探していたというリーダーに導かれ、明神沢(左俣へ通じる)枝沢 1060mの分岐点を今日の宿とする。CLが根から切り落として整地してくれたところにタープを張り、そこを隔てた焚き場で最高の晚餐を^^。寝床が少しナナメでみんなが夜を通して私の方へじりじり落ちしてきたぞ。

8月15日(月)

明神沢左俣への枝沢分岐 1060mBP 7 : 30 下降開始～懸垂オンパレード～明神沢本流 930m～やや上り～明神沢本流 960m 右俣へ～栗木が原湿原へ向かい～ど藪漕ぎ上り～やや下り～栗木が原湿原(至福の珈琲たいむ) 11 : 30～尾根を辿り(登山道同様の踏み跡あり)～地熱発電所 13 : 45 ?



出発！明神沢下降開始



出発からすぐの滝を懸垂



今日もナメ



懸垂に続く懸垂



ロープワークも



ナメのたえない沢だった！！

明神沢に入り(930mくらい)ゆるやかに沢を上る。赤みがかった岩肌に景色をかえながら、960m地点の大きく沢が迂回したところ、右にでてくる水量のある枝沢に入りどんどん上り詰め出る。つき出たその先から南に南にやや西に方向を確認し進む。背丈以上の根曲がり竹のこれまたどえらいムチに打ちひしがれながらのぼり最後は下降して出たは——



ただっ広い栗木が原湿原！！



池にイモリ？ウーパールーパー？のような生き物が



謎の方向を指す生き物や



愛らしい生き物や



見たことのない生き物が

栗木が原湿原で、珈琲を沸かし甘味と至福のひとときを。

湿原の西の稜線鞍部にはピンクテープがあり、そこからは完全な踏み跡を辿ることができる。

下山後温泉へ入り、盛岡駅前のぴよんぴよん亭で超うまい冷麺を食べて帰途へ。

魚は多く、広く明るく連続するナメが、地獄(藪漕ぎ)からの天国(湿原)がやみつきになりそうな、また行ってみたい沢でした。